

星の王子 トゥインクル



東京児童劇場

ジャムおうこくの おうさまと おきさき
に かわいい おうじが うまれました。

おうじは トウインクルと なづけられま
した。おいわいに やってきた だいじんの
なかに コッペだいじんが いました。

コッペだいじんのほんとうのすがたは
わるいガミガミまおうなのです。

ガミガミは だいじんになりすまして
ジャムおうこくを のっとりうと たくらん
で いました。



「ジャムおうこくの おうさまのしるしは
るびーと しんじゅと ひすいの 3つのた
からだ。ぬすんでこい。」とガミガミは け
らいの こうもりに いいました。

ところが こうもりたちは 3つのたから
と おうじを うっかり もりとたにとうみ
へ おとしてしまったのです。

「そろいも そろって おおばかものめ！」
ガミガミは かんかんになって おこりました。

それから10ねん

ガミガミのために みすぼらしいすがたにさ
れたおきさきが おうじをさがして もりの
なかへ やってきました。

もりには どうぶつたちをいじめたり い
たずらをするこどもたちが いました。



そのなかに きこりのトムおじさんに
そだてられた おうじトゥインクルがいました。



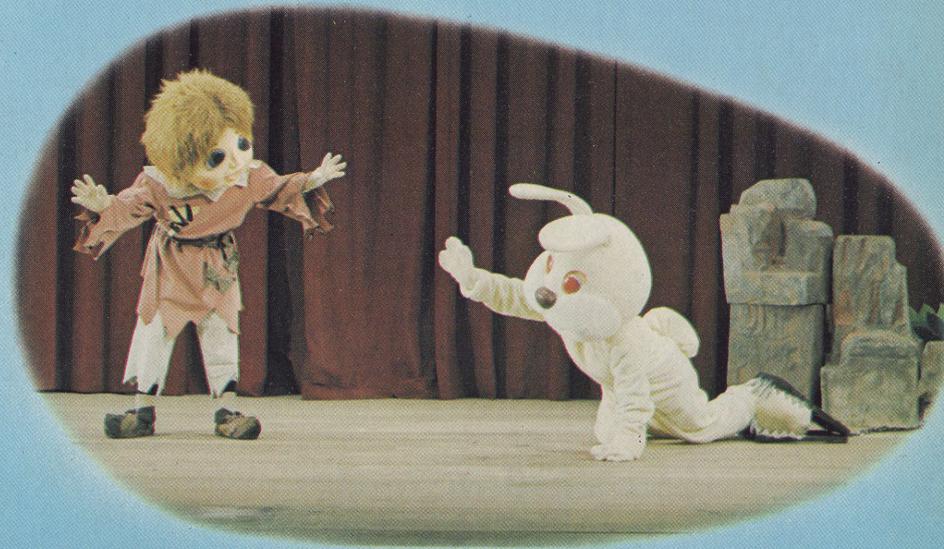
トゥインクルは
じぶんのうつくし
いすがたを はな
にかけ みにくい
すがたの おきさ
きを あざけりわ
らいました。



すると ふしぎなことに トウ
インクルは とても みにくいす
がたに かわってしまいました。

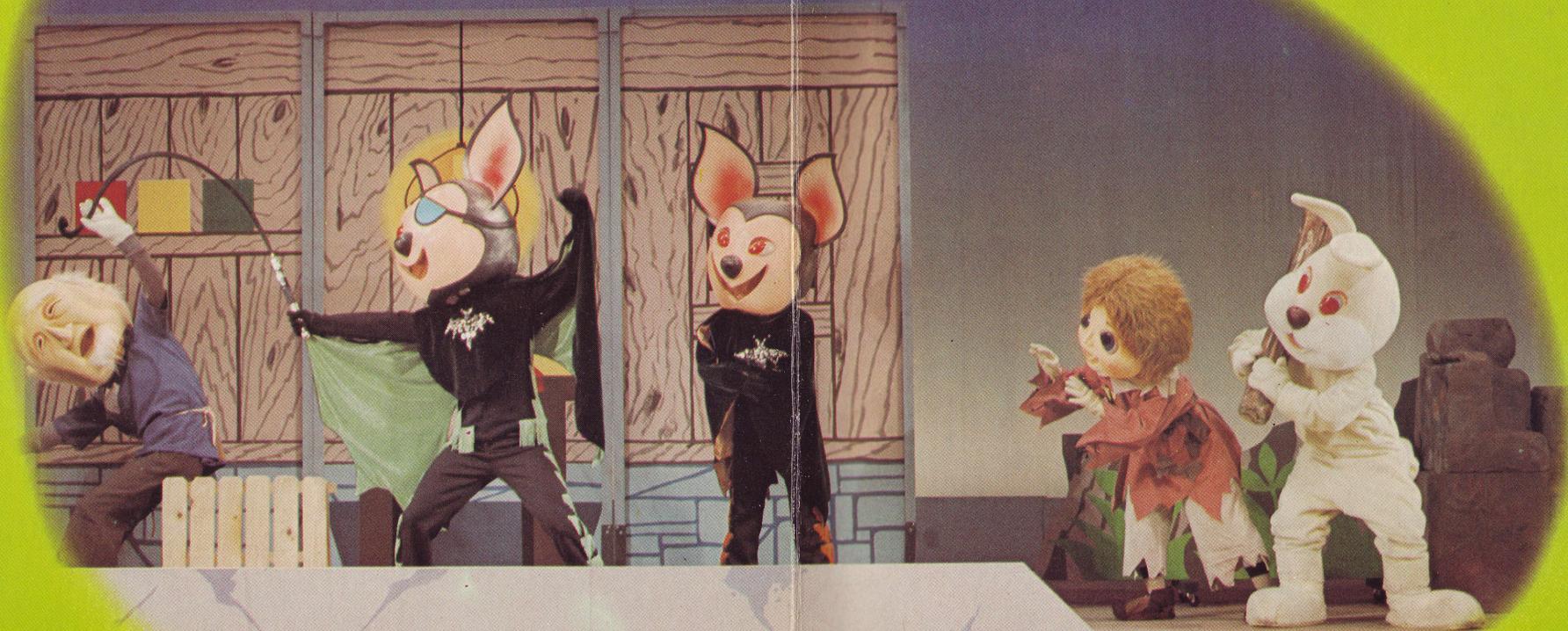
こうかいしたトウインクルは
おかあさんを さがして たびに
でました。

もりのぬしの ブナのきが み
ちをおしえてくれました。



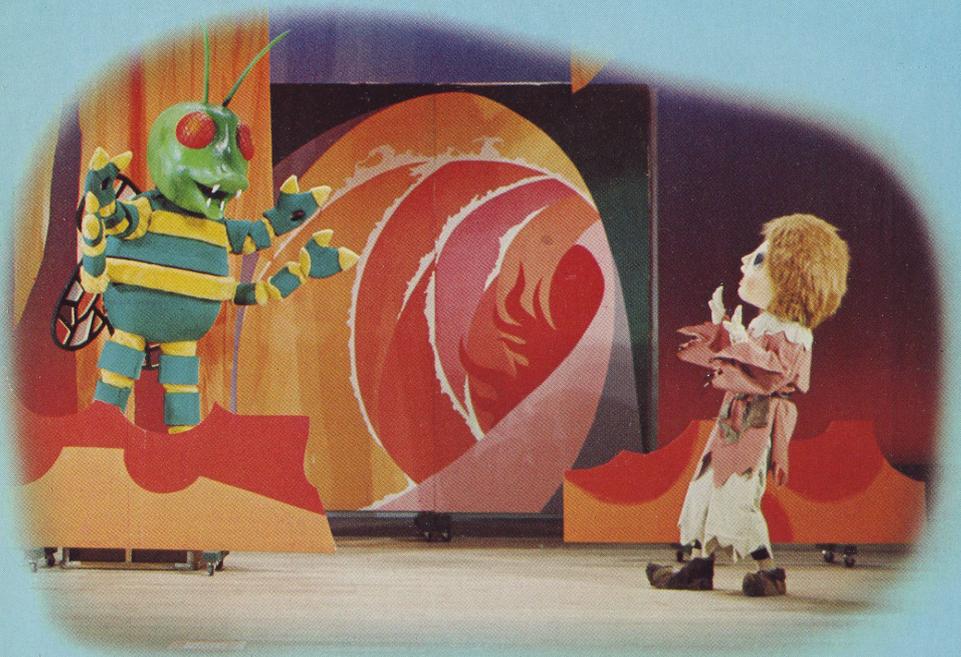
わなにかかった うさぎさんを たすけた
り ガミガミに いじめられている はたお

りの おじいさんを かばったりして たび
をつづけるうちに トウインクルは ガミガ
ミに とらえられてしまいました。



「こぞう るびーを さがしてこなければ
まほうのくすりで いしにしてしまうぞ！」
ガミガミは 10ねんまえ おとした3つの
たからを さがすよう トウインクルに
めいじました。

トウインクルは なぞなぞのだいすきな
ばけものかげろうのところへ るびーを
とりに ゆきました。



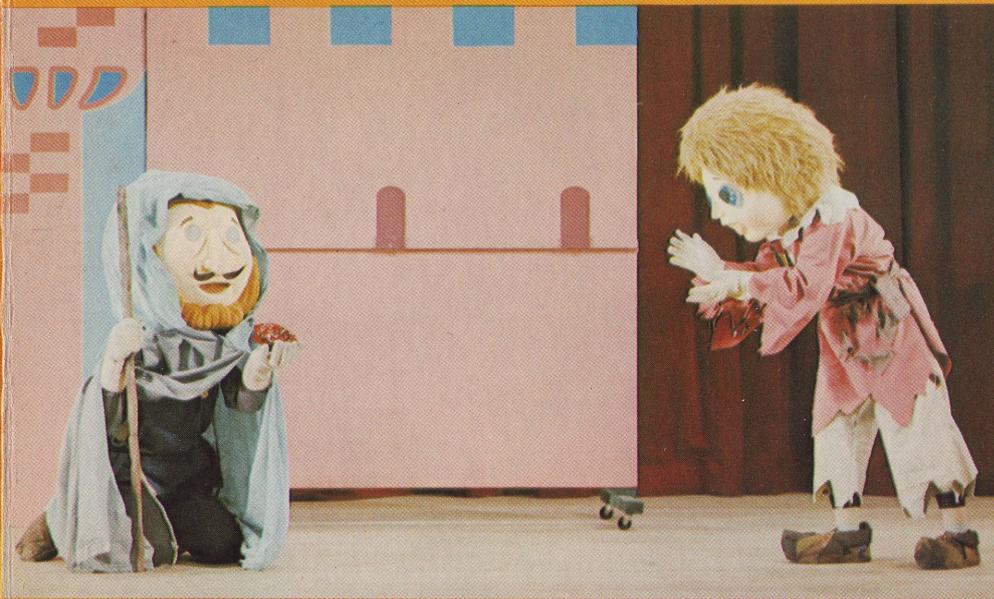
ですが せっかく てにいれた
るびーも かわいそうな めくらの
こじきに やってしまいました
「こぞう！ しんじゅを さがし
てこい！」

ガミガミは かみなりのような
こえで どなりました。



トゥインクルは うさぎさんと
いっしょに うみのなかへ しん
じゅを さがしに ゆきました。

おどりのすきな タコさん
をおどらせて そのすきに しんじ
ゅを みつけたのです。



けれども その
しんじゅも かわ
いそうな めくら
の こじきに あ
げてしまったので
す。

「おじさん これ
を あげます！」

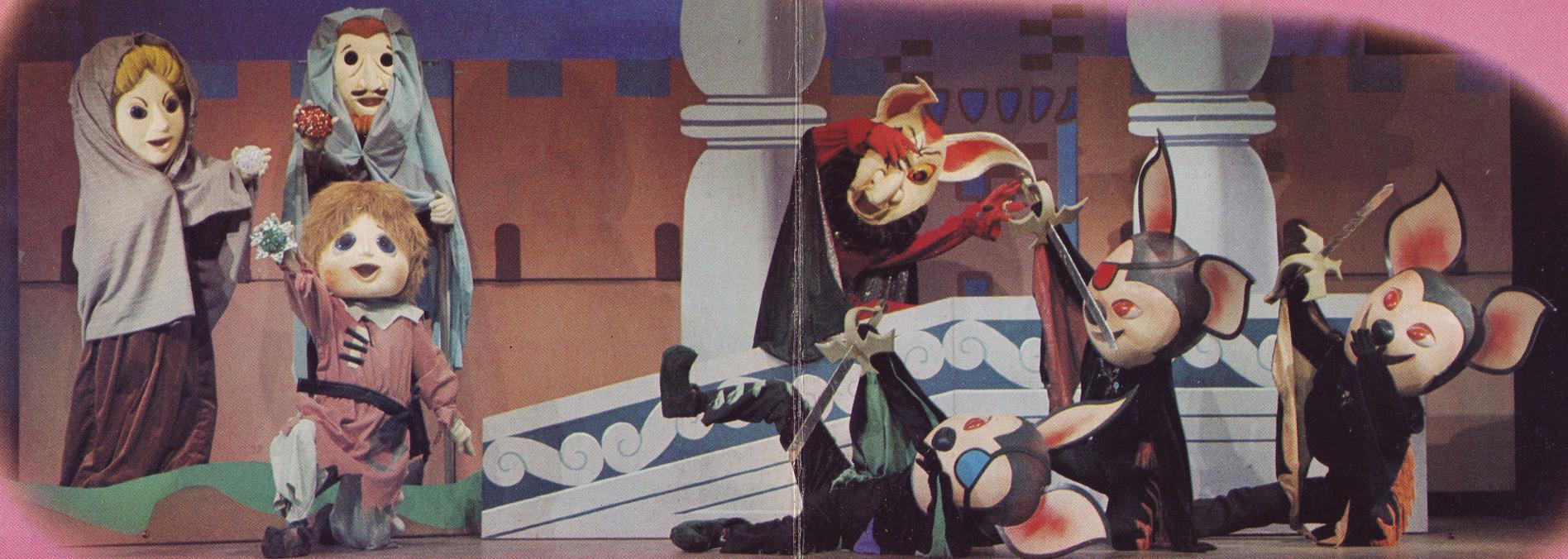
すると 大きなおとがして トウインクル
の みにくいすがたが おうじのすがたに
かわりました。

「トウインクル こころのやさしい よいこに
なってくれましたね。」

おきさきが あらわれて しっかりと ト
ウインクルを だきしめました。

めくらのこじきは ガミガミのために ま
ほうに かけられていた おうさまだったの
です。

おきさきの しんじゅと おうさまの る
びーと トウインクルの ひすいの3つを
あわせると あかるいたいようが そらにの
ぼり ガミガミの まほうが とけて ジャ
ムおうこくに ふたたび しあわせが やっ
てきました。



☆☆ 主題歌 ☆☆

三つの宝

三つの、三つの、三つの
宝があるかぎり
この国は いつも
幸せ つづきます

三つの、三つの、三つの
宝があるかぎり
緑の森は 美しい

行進のうた

助けあうって いいことだ
力を合わせて さあ行こう
一人でダメなら二人で
二人がダメなら三人だ
さあ、ゴー、ゴー
ゴーゴーゴー
さあ、ゴー、ゴー
ゴー ゴー ゴー



《スタッフ》

脚本・池端俊作
演出・松川忠
人形制作・高橋文朗
音楽・土持城夫
演出補・前田曠人
舞台美術・佐々木賢三
照明・北寄崎嵩
"・二瓶英夫
舞監・佐々木賢三
三門義夫

《声の出演》

堀 絢子
高橋和枝
千葉順二
兼本新吾
小宮山清他

《出演》

花城いつ子
田中実枝
原田直枝
島田恵美
田中宏和
宮沢厚他

子どもの劇場

株東京児童劇場 〒161 東京都新宿区下落合2-14-25

☎ (03)954-5811